

— 多くの笑顔の裏に自治会の力 —

ひろげよう

地域の輪

問 コミュニティ推進課 コミュニティ推進係
72・2111

今夏は多くの自治会で、感染症の影響で中止していた夏祭りが開催されました。

ラムネの早飲みではしゃぐ子どもたちやその様子を温かく見守る大人たち。多くの笑顔の裏には、自治会の皆さんの祭りへの思いと、再開に向けた知られざる努力があります。

「自治会活動って何をしているのだろうか?」と思っている人は、意外と多いかもしれません。人と人をつなぐ活動を行う「自治会活動」の一部を紹介します。

「自治会ってなんだろう?」

自治会とは、地域住民が安心・安全に暮らせるように自主的な活動を行う自治組織です。小郡市では「〇〇区」という呼び方が一般的です。

市内には62の自治会があり、組織の代表である「区長(自治会長)」を中心に、各地域の特色に応じたさまざまな活動を実施しています。

「助け合いのまちづくり」

多くの活動を通じた住民同士の交流が、いざ困った時の助け合いの関係づくりにつながります。



「災害時に力を発揮」

特に大規模な災害が発生した時は、交通網が寸断され、市職員が避難所にたどり着けないケースも想定されます。

こうした事態に備え、自治会であらかじめ対応を決めて準備しておくことで、情報共有や安否確認など必要な対応をとることができます。



\\ 三国が丘2区防災図上訓練 \\

自治会活動に潜入

地域内の人間関係が希薄になってきている。この訓練をコミュニケーションのきっかけにしたい。



三国が丘2区長
高木 雅樹さん

今年8月、三国が丘2区で「もしも小郡市で大地震が起きたら」という想定のもと、自治会としての動き方をグループに分かれて話し合う訓練を行いました。

これまでに日本で起こった大災害時には、自治会や消防団など地域住民の「共助の力」によって多くの命が救われています。災害時の動き方に明確な答えはありません。しかし、日頃から自治会でのコミュニケーションをしっかりとることが大切です。



危険箇所や避難経路を確認

自治会はこんな場面でも活躍



区長が地域の声を届けています

市役所との連絡調整
区長が市役所と連絡を取り合うことで、地域の状況や困りごとを共有することができます。

市役所との連絡調整



地域内の暗所を自治会の防犯灯が補っています

まちを照らす防犯灯
夜間、私たちの歩く先を照らしてくれる防犯灯。地域の安全性をより高めるために、自治会が自主的に設置、管理しているものがあります。

まちを照らす防犯灯



敬老会



夏祭り

自治会活動にご協力ください
まちづくりは、自治会活動をはじめとした住民同士の助け合いがとても大切です。皆さんが自治会へ納めている大切な区費は、紹介した防災対策や各種イベント費用などの自治会活動に充てられています。市民一人ひとりのつながりを広げる自治会活動が、小郡市をより暮らしやすいまちへと育てます。
まずは皆さんの無理のない範囲で、できることから始めてみませんか。



まちづくりのすすめかた

令和5年3月に「まちづくりガイドライン」を作成。市がめざすまちづくりの方向性と指針を示しています。



防災以外の主な自治会活動



見守り

子どもや高齢者を地域で見守り
● 登下校の見守り活動
● 広報紙の配布 など



地域交流

地域住民が楽しく関わり合える機会づくり
● 夏祭り ● スポーツ大会
● もちつき など



環境整備

景観の美しい地域づくり
● 花壇整備
● 空き缶回収 など